



平成30年3月1日現在	
総世帯数	1,443世帯
総人口	2,635人
男	1,233人
女	1,402人

町と子どもの移り変わり

宮村町二丁目 吉崎 伸子

原稿を依頼されてまず思い浮べたのが、自分の小学校時代の事でした。早速古いアルバムを開いてみますと有りました！ほぼ六十年前の懐かしい宮村町二丁目子ども会、親も同伴のバス旅行の一枚です。私は隣の小池町で生まれ、源池小学校入学と同時に、この町へ引越してきました。当初は遊び友達がおらず小池町迄出張(?)していたのですが、



宮村の子ども会に出てみますと、とにかく仲間が一杯いて心強く感じたものです。それもそのはず音に聞こえた「団塊の世代」の私達。この写真の中だけでも同学年が十名以上。娯楽も少ない頃でしたのでバス旅行は楽しみの一つでした。

高原へ行ったり、ふどう狩りをしたりバス一台貸切りで大入り満員。いろいろお骨折りに頂いたPTA会長さん御夫妻も笑顔で写っています。こうして改めて写真を見ますと親御さんの殆どの方が鬼籍に入られて寂しい限りです。話は変わって私の子育ての頃、昭和六十年代後半には急激に子どもの数が減り小学生のいる家はたった三軒。(これは現在も同じ) 親は何年もPTAの役員を仰せ付けられる羽目になり、何より困ったのが行事でした。青山様・ぼんぼん・三九郎・天神祭の舞台でやるおはやしの稽古等々、子どものお番は多いのに、肝心の子どもがいらないのです。思い起

せば私の小学生の頃は人数が多くて舞台に乗れるのは男の子のみ。それでも満杯状態でしたから隔世の感が有りま

す。町の守り神宮村様、多くの人達が水を汲みに訪れる源智の井戸、歴史のある誇り高き町ですが、町の模様も住人も年々変わりつつあります。いつの時代でも子ども達の元気な声が響き笑顔がこぼれる町であって欲しいと切に思います。

微生物の驚くべき力

天神南小池町町会 横山 洋子

私は昨年九月に第一地区の衛生部の皆さんと松本市の宮沢にある「浄化センター」を初めて見学することができました。



私達が暮らす台所・お風呂やトイレの汚れた水が下水道管を流れてこの浄化センターに集まります。その汚れた水をさまざまな工程を経て綺麗にし、奈良井川に放水して

ました。私が一番驚いたのは、水の汚れを微生物に食べさせ綺麗な水にする重要な工程があることでした。

小さな微生物が、人々が知らない所で大きな仕事をしていたのです。どす黒い水からだんだん汚れがとれて綺麗な水になって行く工程にも驚きました。

こんなに科学進歩が著しい時代にあっても、自然界に存在し自浄能力を発揮し、汚染対策等の環境問題にも適合させる対策を取っていることを改めて教えて頂きました。微生物に感謝ですね。

人権保持者 春待ち寄席

和泉家志ん治、ぴーす両師匠による恒例「春待ち寄席」が去る二月二十五日に開催。

志ん治師匠の演題は「わろてんか」。絶妙な語り口に加え笑う事の大切さを教えられました。ぴーす師匠のマジックショーも大いに笑いを誘いました。楽しいひと時を過ごしました。



公民館図書コーナー・書籍紹介

『獣の奏者』

悲しい別れをした母の想いを胸に、主人公のエリンは『獣ノ芸術師』となります。愛する獣が隣国との戦いに利用されることの悩みにエリンが選択した結果は…？国際アンデルセン賞受賞作家の上橋菜穂子氏が贈るファンタジー大作です。



●次回書籍入替えの7月中旬まで貸し出ししています。

地域包括ケアシステム推進事業報告会

3/8

第一地区が地域包括ケアシステム推進事業モデル地区に選定されて二日間勉強会をすすめてきたが、この程その報告会が三月八日(木)に開かれた。

悪天候の中、各町会長をはじめ関係団体や各委員会より九十名程が参加した。

前半は福祉計画課の野口さんより地域包括ケアシステム推進事業の活動報告があり、次にセンター長の藤井さんより第二地区の取組みと今後の活動について発表があった。

つづいて包括支援センターの丸山さんよりグループ意見交換について説明があった。推進事業報告の中では、特に重要な事は地区内の「地域システムの推進」と「集まれる場所づくり」をすすめていくことであると発表があった。

後半はグループに分かれて資料をもとに意見交換をした。各町会の課題と照らし合わせながら意見を出し合ったが、この中では一人家庭への声かけや仲良しグループへの

誘い等が話題となった。最後に信大の井上先生よりまとめがあり、「集まって語り合い笑い合う」ことが大切であると報告会をむすびられた。



出張ふれあい健康教室

(南・北源地)

1/19

今年の冬はいつもの年にくらべ寒さが厳しく、家で過ごすことが多くなりがちなか

去る一月十九日に南源地・北源地町会を対象に第二地区福祉ひろば主催の「出張ふれあい健康教室」が南源地の瑞松

寺で行われた。

当日も厳しい寒さでしたが多くの人が集まり、まずはアコーディオンの演奏に合わせ

て参加者全員での合唱を楽しんだ。



次に市役所の保健師さんによるストレッチ体操、ヒートショック予防の話に続いて第二地区地域づくりセンターの藤井センター長より地域包括ケアシステムの説明があった。その後はゲートボー

健康づくり推進員講習会

知って得する☆

腎臓の仕事

二月二十六日、健康づくり推進員講習会が地区公民館教養娯楽室で行われ、地区の健康づくり推進員で看護師の井上文子氏の話を受講者全員が真剣な面持ちで聴講した。テーマは腎臓。その構造と働き、関連する病気とその前兆となるサイン。末期腎不全に至った場合の三つの治療法と話が進むと、人口透析・腎移植の大変さを知っている受講者は「特に生活習慣病(糖尿

尿病等)から腎不全、透析と進むケースが多い」という話に、自分或いは家族に思いを馳せて多くの質問をしていた。

一年に一度特定検診を受診し、必要な場合には特定保健指導を受けるのが大事と締めくくった。



すすき川

「光陰矢の如し」だ。年が明けてすでに二ヵ月経過。月日が経つのは早いなあと改めて感じる。例年にない寒さと大雪。とは言え、大

雪は今のところ松本平には大きな影響は無いが、逆に北陸地方を中心とした日本海沿岸地域の方々は大変だ。交通網の混乱・日常生活への打撃・除雪費用の増大等。特に高齢者による除雪事故による犠牲は痛ましい。

4・5・4 そう、平昌オリンピックにおける日本選手

の金銀銅メダル獲得数だ。各選手の活躍ふりは枚挙にいとまが無いが、それにしても、よくあんな大技が出来るな」と感心した方も多いのではないか?

空中高く舞い上がり、三回も四回も前後左右に回転を含む競技。あんな大技が出来るのは、やはり十代二十代そして三十代前半の若い選手。若いっていいな」とつくづく思ってしまう。日本とほとんど時差の無い国での開催はやはりいい。眠い目をこすりながらTVを観なくて良いからだ。間もなく始まるパラリンピック。大いに楽しみたいと思う。(青柳)